

第2四半期 決算説明資料 (2025年度)

2025年12月 8日



2025年度 第2四半期 決算概要

2025年度 第2四半期累計期間の総括

- 当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の増加等を背景に、景気は緩やかに回復しましたが、物価上昇が高水準で推移していることに加え、米国の関税政策の影響や、地政学リスクの高まり等、景気の先行きには依然として不透明感を残しております。
- このような事業環境の中、呼吸用保護具を中心に労働安全衛生保護具を供給している当社は、主要顧客である製造業からの受注が堅調に推移したことに加え、リスクアセスメント対象物質に対する保護具の商品受注が好調であったことから、売上高は63億90百万円（前年同期比2.2%増）となりました。
- 利益面では、製品原価の低減に努めたものの、原材料価格の高騰や労務費の上昇、金型減価償却負担増等の影響に加え、製品売上高が46億14百万円と前年同期比横ばいに留まることを受け、製品原価率が悪化したことから、売上総利益は18億36百万円（前年同期比3.4%減）となりました。
- 販売費及び一般管理費は、人件費の上昇や、各種展示会等の活用に伴う広告宣伝費の増加、また昨年9月に切り替えを行った新たな基幹システムにかかる費用負担等もあり、販売費及び一般管理費とも増加となり、全体では17億48百万円（前年同期比6.6%増）となりました。
- 以上の結果、営業利益88百万円（前年同期比66.0%減）、営業外費用として、船引事業所第三工場建設に係る資金調達を目的としたシンジケートローン手数料1億円を計上したことから、経常損失10百万円（前年同期は経常利益3億3百万円）、中間純損失13百万円（前年同期は中間純利益1億97百万円）の增收減益決算となりました。

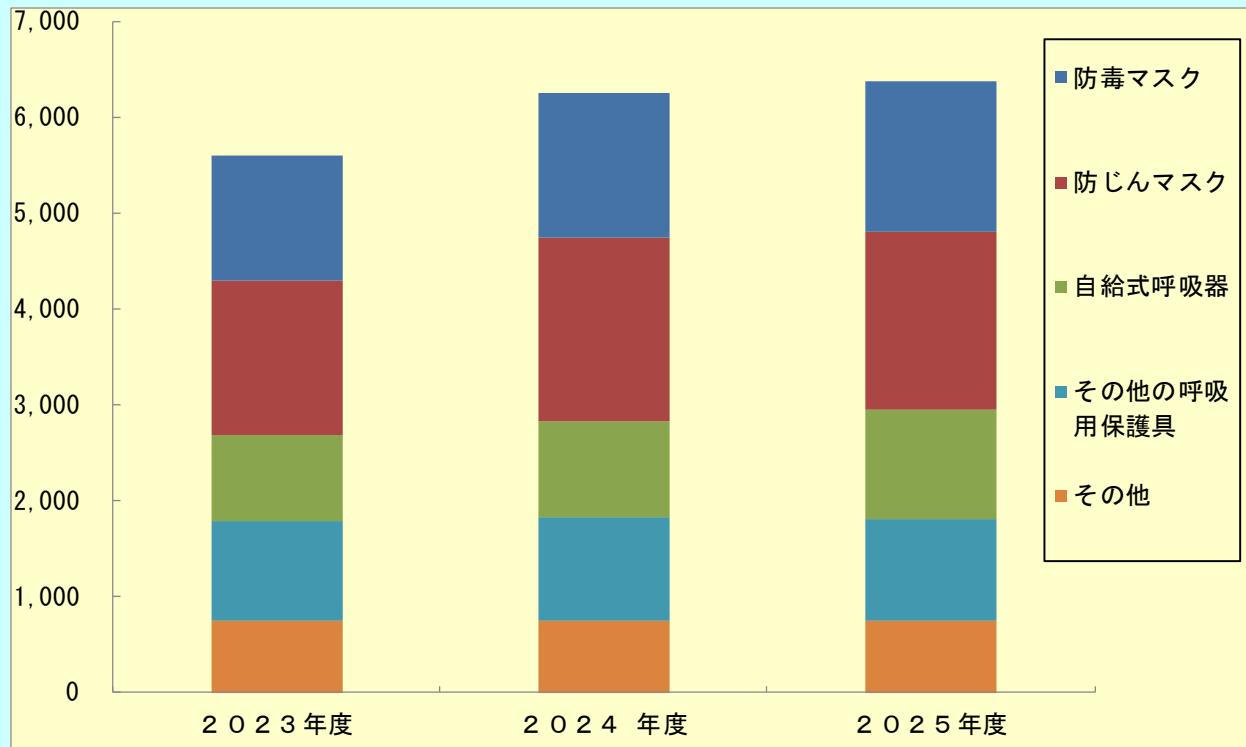
2025年度 損益の状況

(単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入)

	2023年度 第2四半期	2024年度 第2四半期	2025年第2四半期		
			実 績	前々期比 増減	前期比 増減
売 上 高	5,601.6	6,253.5	6,390.6	789.0	137.1
製品製造原価	2,839.9	3,131.3	3,345.5	505.6	214.2
商品原価	997.6	1,221.1	1,208.2	210.7	△12.8
売上原価	3,837.5	4,352.3	4,553.7	716.2	201.4
売上総利益	1,764.1	1,901.2	1,836.9	72.8	△64.3
販売費及び一般管理費	1,613.8	1,640.2	1,748.2	134.4	108.0
営業利益	150.3	261.0	88.7	△61.6	△172.4
営業外収益	26.1	58.6	35.1	9.0	△23.6
営業外費用	19.4	16.0	134.6	115.1	118.6
経常利益	156.9	303.7	△10.9	△167.7	△314.5
特別利益	—	—	—	—	—
特別損失	2.8	14.5	3.3	0.5	△11.2
税引前当期純利益	154.1	289.2	△14.1	△168.3	△303.3
法人税等	54.2	80.7	2.6	△51.6	△78.1
法人税等調整額	△4.2	10.6	△3.0	1.2	△13.6
当期純利益	104.1	197.9	△13.8	△117.8	△211.6

第2四半期累計期間のセグメント別売上高推移

(単位：百万円)



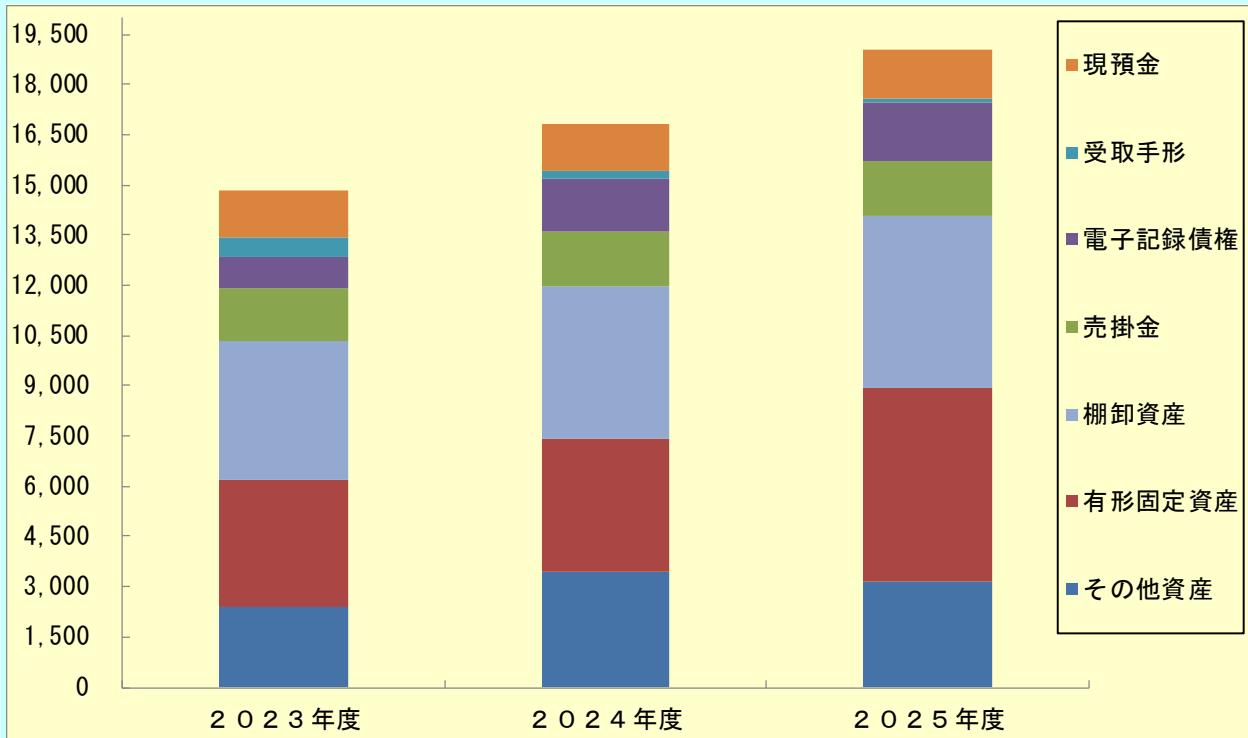
当第2四半期累計期間の特徴

- ① 主要顧客である製造業からの受注が堅調に推移したことにより、リスクアセスメント対象物質に対する保護具の商品受注が好調であったことから、売上高は前年同期比1億37百万円の増加となりました。
- ② 主要品目別では、前年同期比で防毒マスクが64百万円増加、防じんマスクは49百万円減少、自給式呼吸器が1億47百万円の増加、他の呼吸用保護具は9百万円の減少となりました。
- ③ また、その他項目は、防護手袋や保護衣等の保護具であり、前年同期比16百万円の減少となりました。

	2023年度	2024年度	2025年度
防毒マスク	1,299.3	1,513.8	1,577.9
防じんマスク	1,621.6	1,901.1	1,851.8
自給式呼吸器	884.1	1,001.5	1,148.8
他の呼吸用保護具	1,043.1	1,078.5	1,069.0
その他	753.6	758.6	743.0
合計	5,601.6	6,253.5	6,390.6

第2四半期末の主要資産状況推移

(単位：百万円)



当第2四半期累計期間の特徴

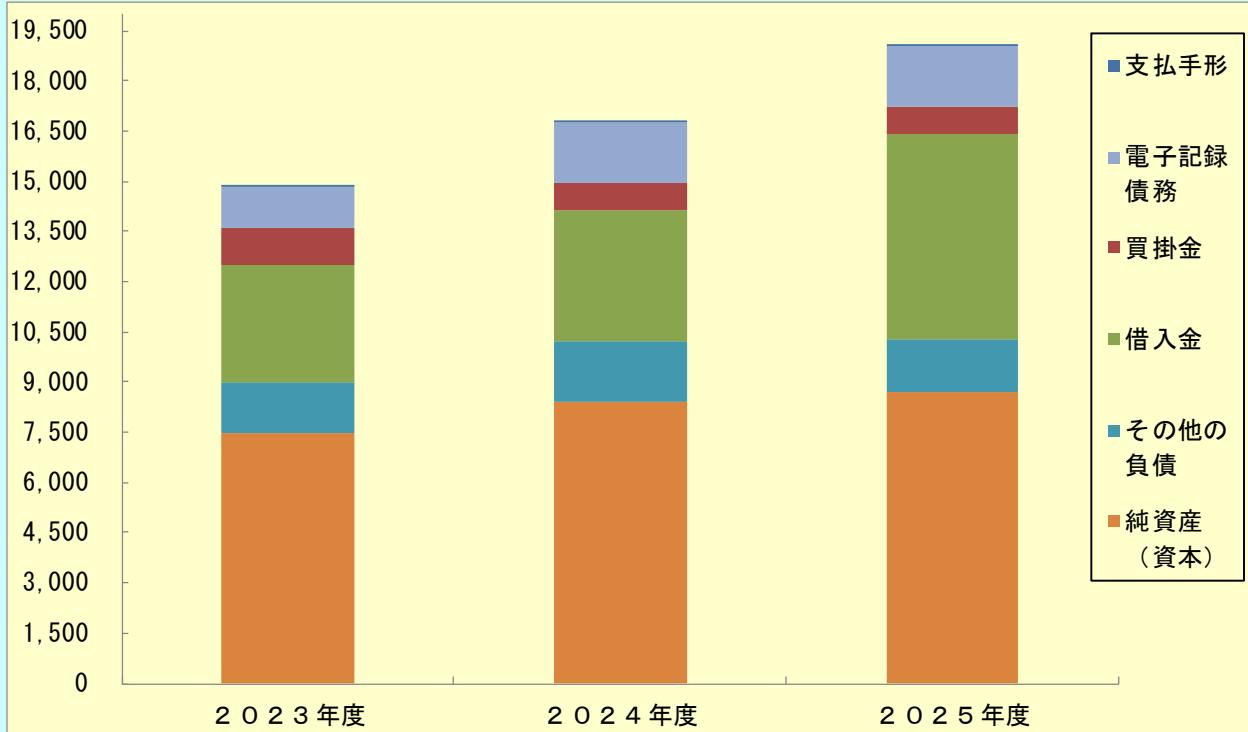
- ① 現預金の残高は、前年同期比で8百万円の微増となりました。
- ② 売上債権（受取手形＋電子記録債権＋売掛金）残高は、前年同期比で1億32百万円の増加となりました。
- ③ 年度後半の繁忙期に向けての在庫積み増しに伴い、棚卸資産は、前年同期比で5億22百万円の増加となりました。
- ④ 有形固定資産は、減価償却が進みましたですが、建設中の船引事業所第三工場について建設仮勘定を計上したことから前年同期比で18億20百万円の増加となりました。

	2023年度	2024年度	2025年度
現預金	1,433.6	1,421.3	1,429.9
受取手形	560.2	237.6	128.6
電子債権	925.0	1,571.1	1,767.4
売掛金	1,615.8	1,611.8	1,657.2
棚卸資産	4,143.8	4,588.6	5,111.4
有形固定	3,790.2	3,949.5	5,770.2
その他資産	2,394.7	3,448.4	3,177.8
総資産	14,863.3	16,828.5	19,042.5

注：受取手形割引額1億60百万円は、簿外のため含まれていません。

第2四半期末の主要負債・純資産状況推移

(単位：百万円)

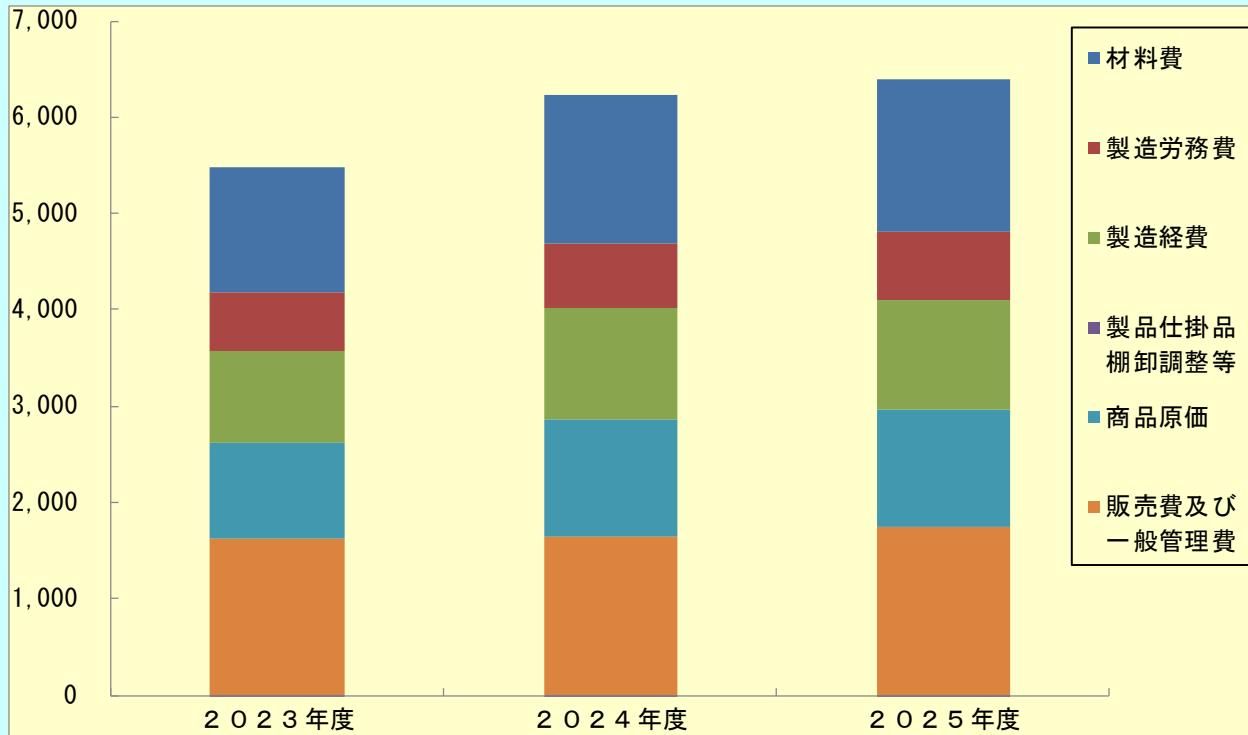


当第2四半期累計期間の特徴

- ① 支払債務（支払手形+電子記録債務+買掛金）は、前年同期比で87百万円減少しました。
- ② 借入金は、昨年9月に切り替えを行った新たな基幹システムに関わる費用や船引事業所第三工場に関わる先行費用負担等に加え、売り上げ増加に伴う運転資金の増加もあり、前年同期比で、22億86百万円の増加となりました。
- ③ その他の負債は、未払金、繰延税金負債等が減少した結果、全体では前年同期比2億80百万円減少しました。
- ④ 純資産は、前年同期比で利益剰余金が4億62百万円増加し、その他有価証券評価差額金が1億66百万円減少した結果、全体では2億95百万円の増加となりました。
- ⑤ 以上の結果、純資産は前年同期比22億14百万円増加し、自己資本比率は45.7%となり、前年同期比では4.2%低下しています。

第2四半期累計期間の売上原価・販売管理費状況推移

(単位：百万円)



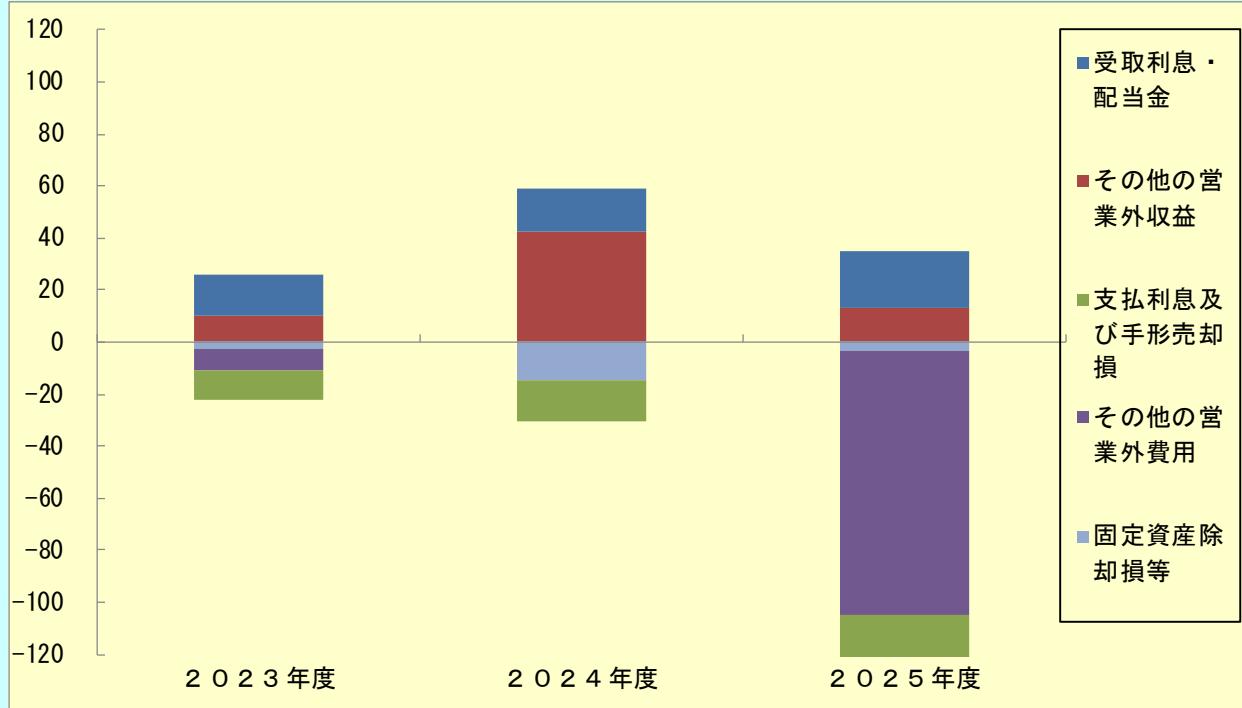
当第2四半期累計期間の特徴

- ① 製品原価の低減に努めたものの、原材料価格の高騰や労務費の上昇もあり、前年同期比で、材料費は57百万円、製造労務費は36百万円の増加となりました。製造経費は、外注加工費等の減少により、前年同期比で24百万円の減少となりました。
- ② 商品原価は、呼吸用保護具の売上増により、商品原価率改善もあり、前年同期比12百万円減少しました。
- ③ 販売費及び一般管理費は、人件費の上昇や、各種展示会等の活用に伴う広告宣伝費の増加、また昨年9月に切り替えを行った新たな基幹システムに関わる費用負担等もあり、販売費及び一般管理費ともに増加となり、全体では前年同期比で1億8百万円の増加となりました。

	2023年度	2024年度	2025年度
材料費	1,282.4	1,533.2	1,590.9
製造労務費	627.9	668.9	705.2
製造経費	950.5	1,162.9	1,138.9
製品仕掛け品棚卸調整他	△20.9	△233.7	△89.5
商品原価	997.6	1,221.1	1,208.2
販売費及び一般管理費	1,613.8	1,640.2	1,748.2
合計	5,451.3	5,992.5	6,301.9

第2四半期累計期間の営業外・特別損益推移

(単位：百万円)



当第2四半期累計期間の特徴

- ① その他の営業外収益は、為替差益の減少等から前年同期比29百万円の減少となりました。
- ② 支払利息及び手形売却損は、借入金が前年同期比で、22億86百万円増加となったことから、17百万円増加しました。
- ③ その他の営業外費用は、船引事業所第三工場建設に係る資金調達を目的としたシンジケートローン手数料1億円を計上したことから、前年同期比で1億1百万円の増加となっています。
- ④ 特別損失として、固定資産除却損3百万円を計上いたしました。

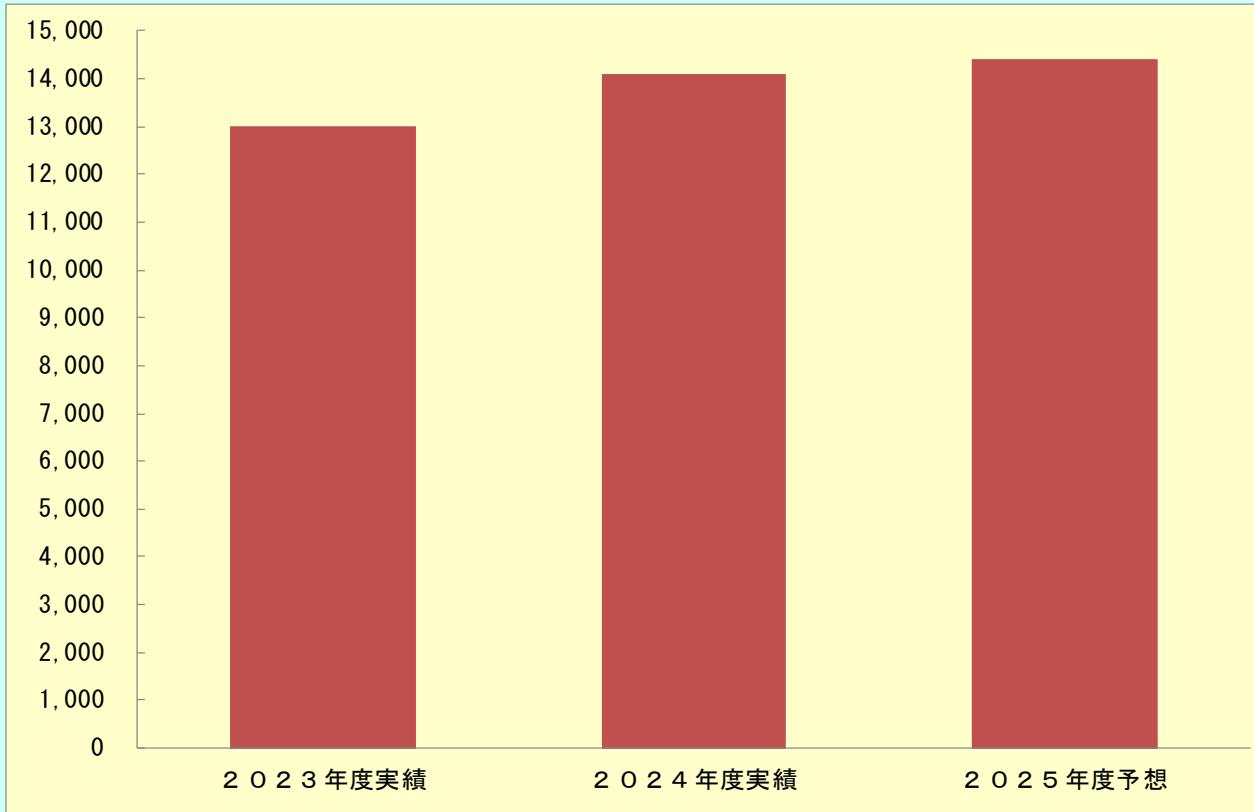
(単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入)

	2023年度	2024年度	2025年度	
営業外損益	受取利息・配当金	16.0	16.0	21.7
	その他の営業外収益	10.1	42.7	13.3
	支払利息及び手形売却損	△ 11.5	△ 16.0	△ 32.9
	その他の営業外費用	△ 7.9	△ 0.0	△ 101.7
営業外損益合計		6.6	42.7	△ 99.5
特別損益	固定資産除却損	△ 2.8	△ 14.5	△ 3.3
	特別損益合計	△ 2.8	△ 14.5	△ 3.3

2025年度通期業績予想

2025度通期の売上高予想

(単位：百万円)



状況と見通し

今後のわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の増加等を背景に緩やかな景気回復が見込まれる一方、物価上昇が高水準で推移していることに加え、米国の関税政策の影響や、地政学リスクの高まり等、景気の先行きには依然として不透明感を残しております。

通期の売上高予想値につきましては、主要顧客である製造業からの受注が堅調であることに加え、商品受注も好調を維持していくものと思われることから、本年5月に公表した144億円の予想値に修正はありません。

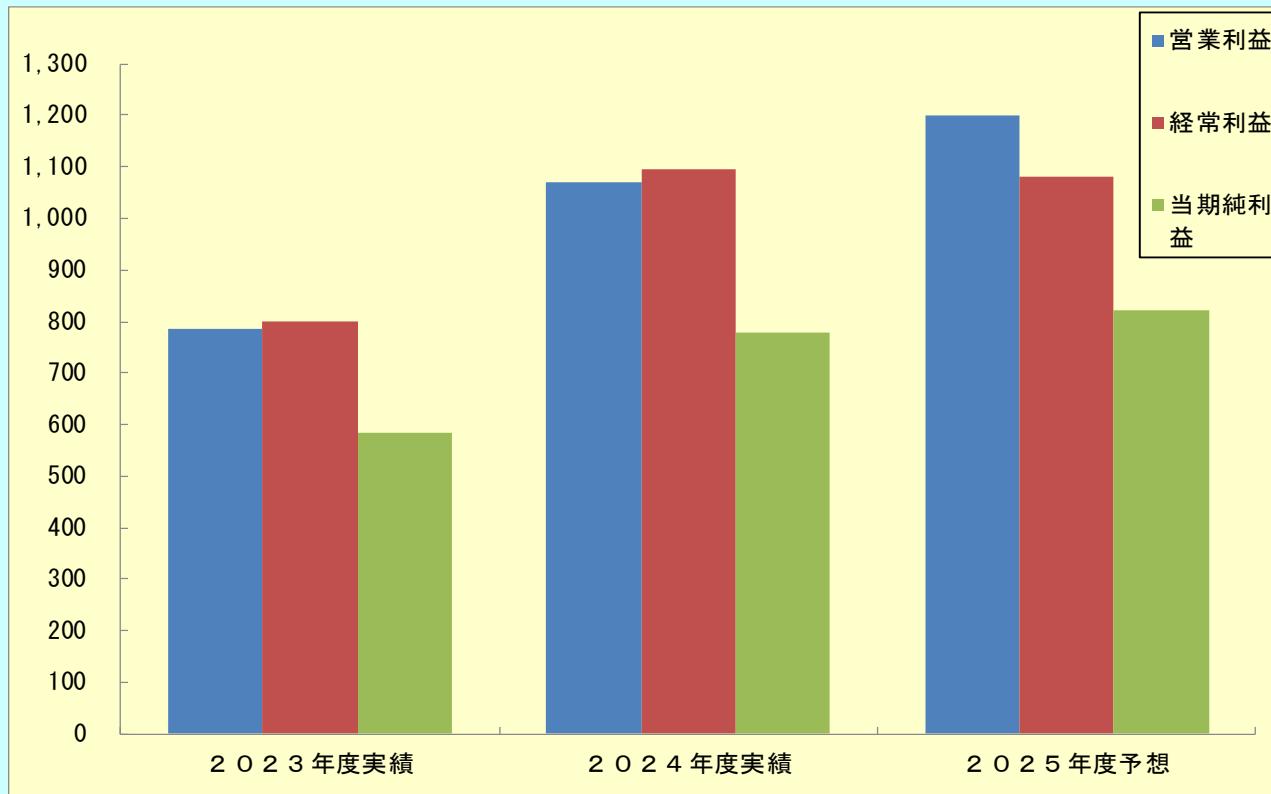
今後、上記の見通しに変化があると予想された場合には、適時開示規則に則り、速やかに業績予想の修正発表を行ってまいります。

(単位：百万円、小数点未満四捨五入)

通期	2023年度実績	2024年度実績	2025年度予想
12,995	14,112	14,400	

2025年度通期の利益予想

(単位：百万円)



状況と見通し

下期の利益予想につきましては、我が国を取り巻く経済環境、社会情勢において、見通しにプラスマイナス要因が混在しております、不透明感があるのが実情です。

以上のことから、現時点では、本年5月に公表しました通期の利益予想につきましても修正は行わず、営業利益12億円、経常利益10億80百万円、当期純利益8億20百万円を見込んでおります。

今後、上記の見通しに変化があると予想された場合には、適時開示規則に則り、速やかに業績予想の修正発表を行ってまいります。

(単位：百万円、小数点未満四捨五入)

	2023年度実績	2024年度実績	2025年度予想
営業利益	784	1,069	1,200
経常利益	800	1,097	1,080
当期純利益	584	780	820